

Japan Network Services (Japanese Version)

AN IDC CONTINUOUS INTELLIGENCE SERVICE

IDC Japan 年間情報提供サービス「Japan Network Services (Japanese Version)」は、企業向けネットワークサービス、ゼロトラスト化、ハイブリッドワーク対応などを中心に、通信事業者やシステムインテグレーターのターゲット市場を分析します。

近年の在宅勤務とクラウドサービス利用の急速な拡大により、多くの企業にとって最適なネットワーク構成は変化しました。自宅とオフィスのハイブリッドワークを前提とした、SD-WAN やクラウド型セキュリティサービスの活用、Web 会議の定着によって常態化したトラフィック増加への効果的な対処、DX など企業のネットワーク担当者が考慮すべき課題はますます複雑になっています。技術面では、ネットワーク仮想化の進展、AI、IoT、5G 商用サービスの普及、6G に向けた研究開発の活発化といった変化があり、また事業環境面では、通信事業者はクラウドサービス事業者などとの新たな競争と協調の局面を迎えています。

本プログラムでは、上記の視点で今後のネットワークサービス市場の方向性や競合状況の変化などを分析し、同市場に関する最新のインサイトをお届けします。また市場規模予測と事業者シェアなどの定量情報も提供します。2024 年は特に、企業向けネットワークサービス市場における SMB (Small and Medium-sized Business : 中堅中小企業) の動向や、クラウド WAN や SD-WAN/SSE (Secure Service Edge) 市場の分析を強化します。

Markets and Subjects Analyzed

- ネットワークサービス (WAN、モバイル、固定)
- SD-WAN/SSE
- 企業ユーザーのネットワークサービス利用動向
- クラウド WAN/マルチクラウドネットワーキング
- ハイブリッドワークへの対応

Core Research

- 国内ネットワークサービス市場 予測とシェア
- 国内ネットワークサービス市場 企業ユーザー調査
- SD-WAN 市場 予測
- クラウド WAN 市場分析
- IDC FutureScape: Worldwide Future of Connectedness 2024 Predictions - Japan Implications

上記リサーチは市場環境などの変化に応じて変更される可能性があります。発行レポートをご覧になりたい場合は以下 Web サイトをご参照ください。: [Japan Network Services \(Japanese Version\)](#).

Key Questions Answered

1. ネットワークサービス市場の今後の市場規模、構造はどのように変化するか?
2. 今後のネットワークサービスの競争優位の源泉は何か?
3. SD-WAN/SSE/クラウドネットワーキングはネットワーク市場の構造やサービスをどのように変えていくか?
4. ポストコロナ時代に求められるネットワークサービスはどのようなものか?

Companies Analyzed

IDC では、次のベンダーの企業戦略、競合状況などの比較/分析を行います (アルファベット順、50 音順)。

Colt テクノロジーサービス、KDDI、NEC、NTT コミュニケーションズ、アルテリア・ネットワークス、インターネットイニシアティブ、NTT ドコモ、NTT 東日本、NTT 西日本、TOKAI コミュニケーションズ、オプテージ、ソフトバンク、富士通、その他